

(出文協承認)
あ 360058

勤勞青年文化叢書 青年の明治維新史 一圓二十錢

發行所	配給元	印刷者	發行者	著作者	昭和十七年十二月六日初版印刷 昭和十七年十二月十日初版發行
株式會社 東洋書館	日本出版配給株式會社 東京市神田區淡路町二ノ九	山縣精一 東京市神田區神保町三ノ二九 (東京四二二)	大井徳三 東京市麹町區九段一ノ十二	田中愨五郎	(10,000部)

(文協登錄二二〇〇二八)
東京市麹町區九段一ノ十二
振替東京一七〇三六三

東洋書館・勞務管理全書

東京市麴町區九段一ノ十二
東洋書館

電話九段(33)四八四九
振替東京一七〇三六三

新しき大東亞建設のために最も要請せられることは生産の確保である。國民のすべてはこの國家の意志を體して、總力をこれにむかつて集結して來たのである。この國家の至寶たる生産能力をおくまでも、よく育て、正しく用ゐる、厚く護り、以て國民各個をその義務に於いて鍊成し、その志を暢達すべき勞務管理の任務の、今日より重大なるはない。産業は全面的に新しい體制を整へねばならぬ秋が來た。そこに於ける勤勞も亦新たな建設的體制にならなければならぬ。この爲の勞務管理が從來の常識的な側面的指導であつたのでは間に合はぬ。生産の經營と技術と協同した専門的指導方法の確立を要する。本全書は斯かる要請に應へんが爲に各方面に情熱をもつて現に働いてゐる専門家が夫々の蘊蓄を傾けた無双の叢書である。 桐原 葆 見

1※ 戰時勞務管理	勞働科學 研究所 桐原葆見 (價三〇〇)	14※ 産業保健管理	勞働科學 研究所 勝木新次 (價三二〇)
2※ 産業報國會の組織と運營	大日本産業報國會 佐々木正制 (價三二〇)	15※ 工場安全	勞働科學 研究所 上野義雄 (價二五〇)
3 勞務動員	企業畫院 調査官 鶴島瑞夫	16 職業病	勞働科學 研究所 赤塚京次
4※ 勞働配置	厚生省 厚生技師 狩野廣之 (價三八〇)	17 産業体育	産生部 部長 野津謙

5※ 勞務輔導	職業指導所 技師 伊藤村中兼松 (價四五〇)	18※ 工場寄宿舎管理	大日本産業報國會 佐々木正制 (價三〇〇)
6 技能養成	厚生省技師 勞務監督官 三井透	19 女子勞務管理	勞働科學 研究所 桐原葆見
7※ 勤勞人の鍊成	大日本産業報國會 廣崎眞八郎 (價三二〇)	20※ 傷痍軍人勞務輔導	軍事保健院 技師 辻村泰男 牧村進 (價三五〇)
8※ 職長養成	日本製鐵 參事 大内經雄 (價三二〇)	21※ 徵用勞務管理	日本光學 勞務課長 乘富丈夫 (價三二〇)
9※ 勤勞文化	日本製鐵 勞務課長 鈴木舜一 (價三五〇)	22※ 轉業者及女子勞務輔導	職業指導所 技師 伊藤村中兼松 (價三二〇)
10 賃金制度	厚生省 厚生技師 大西清治	23※ 工場保健衛生	醫學博士 栗原操 (價七二〇)
11 工場青年學校	東京帝大 助教 海後宗臣	24※ 勞務統制法	前台北帝大 教授 後藤清 (價三二〇)
12※ 疲勞と休養	京都帝大 講師 古澤一夫 (價二一〇)	25※ 婦人勞務者保護	勞働科學 研究所 古澤嘉夫 (價三二〇)
13 勞働衛生	大阪帝大 教授 梶原三郎	26 工場食糧	勞働科學 研究所 有本邦太郎

(※FII既刊)

勤勞青年文化叢書

刊行の言葉 本叢書は、現下必勝生産戦の第一線に立つて日夜勤勞に勵む青少年工員諸君に、逞しく、潤ひある、而も美しい勤勞者の文化をもたらすべく、各々の著者が熱情を傾けて書かれたものである。勤勞青年の讀みものとして自信を以てお薦めする。

大政翼賛會・組織部長 秋葉保廣著 發賣中

われらの生活と法律

送價B 6判堅牢
・一九〇〇

本書は勤勞青年の是非知つておかれなければならない、生活と切り離す事の出来ぬ勞務關係の戰時立法の意味と其の實際運営について分り易く面白く説いた。

石川島造船所 近藤孝太郎著

働く者のための繪畫

送價B 6判堅牢
・二〇〇〇

勤勞青年の生活に潤ひと樂しみを與へる繪畫の描き方を分り易く説き、同時に勤勞者の持つべき新しい生産美術の樹立を提唱した繪畫の手引。

小松雄吉著 工場醫の記録 送價・一八〇〇

湯淺永年著 働く者のための音樂 送價・二〇〇〇

54
194

終

